

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2007-84825(P2007-84825A)
 【公開日】平成19年4月5日(2007.4.5)
 【年通号数】公開・登録公報2007-013
 【出願番号】特願2006-255776(P2006-255776)
 【国際特許分類】

C 0 8 G 8/36 (2006.01)
 C 0 8 L 61/14 (2006.01)
 C 0 8 L 23/08 (2006.01)
 C 0 8 L 71/02 (2006.01)
 C 1 0 L 1/192 (2006.01)
 C 1 0 L 1/196 (2006.01)
 C 1 0 L 1/22 (2006.01)
 C 1 0 L 1/195 (2006.01)
 C 1 0 L 10/08 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 8/36
 C 0 8 L 61/14
 C 0 8 L 23/08
 C 0 8 L 71/02
 C 1 0 L 1/192
 C 1 0 L 1/196
 C 1 0 L 1/22
 C 1 0 L 1/195
 C 1 0 L 10/08

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月18日(2009.9.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明の課題の一つは、モノマー性もしくは低分子量ポリ芳香族化合物を実質的に含まない鉱物油蒸留物の低温特性および潤滑特性の両方を向上させるための添加剤を見出すことである。本発明の更に別の課題の一つは、複数の有効成分を含む添加剤パッケージにおける相の分離を防ぐために、アルキルフェノール樹脂と更に別の添加剤成分、特に更に別の低温添加剤低分との間の相溶性を向上させることである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0078】

本発明の添加剤の更に別の成分として好適なオレフィンコポリマー(成分V I)は、モノエチレン性不飽和モノマーから直接誘導し得るか、またはイソプレンもしくはブタジエン

などのポリ不飽和モノマーから誘導されたポリマーを水素化することによって間接的に製造し得る。好ましいコポリマーは、エチレンの他に、炭素原子数3～24の α -オレフィンから誘導される構造単位を含みそして120000g/molまでの分子量を有する。好ましい α -オレフィンは、プロピレン、ブテン、イソブテン、n-ヘキセン、イソヘキセン、n-オクテン、イソオクテン、n-デセン、イソデセンである。炭素原子数3～24の α -オレフィンのモノマー含有率は好ましくは15～50mol%、より好ましくは20～35mol%、特に30～45mol%である。これらのコポリマーは、少量の、例えば10mol%までの量の更に別のモノマー、例えば非末端オレフィンまたは非共役オレフィンを含むこともできる。好ましいものはエチレン-プロピレンコポリマーである。該オレフィンコポリマーは公知の方法、例えばチグラー触媒もしくはメタロセン触媒を用いて製造することができる。